

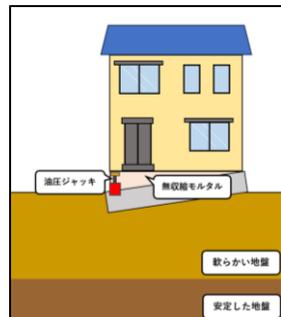
鋼管圧入工法・杭工法  
アンダーピーニング

基礎の下を掘削し、地中に鋼管圧入ジャッキで支持層まで圧入。

安定した地盤が深い場合向き。地中障害物がある場合には不向き。

微調整がきくが、工期が長く高価。

水平精度は高い。  
残土処理が発生する。



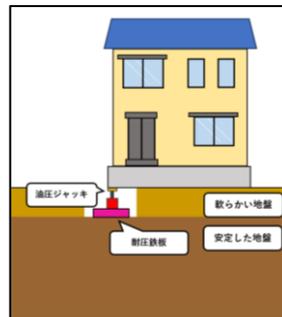
土台上げ工法

建物と基礎を切り離し基礎はそのまま土台部からジャッキで建物を持ち上げ、ライナー入れ込む。

地盤が安定している、沈下が終息した場合向き。地盤が不安定だったり沈下進行中不向き。

比較的短工期で安価。軟弱地盤の場合、再沈下の恐れがある。基礎修復が必要となる。

水平精度は普通。  
アンカーボルトを外すので床撤去必要。建物構造に影響が出る場合あり。



耐圧版工法

基礎下を掘削し、耐圧鉄板を敷いて基礎ごとジャッキで持ち上げる。

安定した地盤が浅い場合に向いている。(2m以浅) 深い場合には不向き。(2m以深)

微調整がきくが、工事適用範囲が狭い。

水平精度は高い。  
残土処理が発生する。



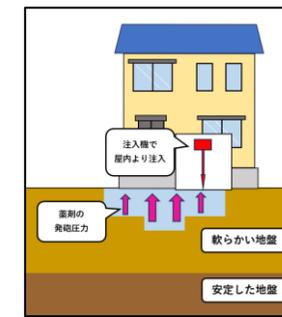
薬液注入工法

軟弱地盤に薬液を注入し、地盤を固める。また、注入圧で建物を持ち上げる。

空隙が多い・やわらかい飽和地盤・地中障害物が混入した地盤向き。擁壁近接物がある場合不向き。

比較的安価で短工期だが、近接構造物に影響が出る場合あり。  
微調整ができない。

水平精度は普通。  
ベタ基礎のみ。  
布基礎不可。



ウレタン注入工法

基礎に小さな孔を開け、特殊ウレタン樹脂を注入。樹脂の発砲圧力により基礎ごと持ち上げる。

地盤が安定している、沈下が終息した場合向き。地盤が不安定だったり沈下進行中不向き。

施工が容易で安価だが、再沈下の恐れあり。  
微調整がきかない。

水平精度は普通。  
ベタ基礎のみ。  
布基礎不可。